

# クローズアップ

# 幼稚園廃止案の動き 保護者・地域が批判

橋下“何でも民営化”市政 公的責任投げ捨てすすめる

阪都」構想の先取りでなんでもかんでも民営化で、公的責任の投げ捨てがすすんでいます。大阪府知事・大阪市長ダブル選（22日投票）では、「地域の宝、市立幼稚園をつぶすな」の声が大きく上がっています。（生島貞治）

全会派で否決してしまった。日本共産党が自主的に支援する柳本あきら大坂市長候補は「市立幼稚園の単純な民営化議論に終止符を」と主張しています。

橋下徹大阪市長は「民間で成立しているものは民間で」を盾に、コストが私立園よりもかかると言って、市立幼稚園全園（59園）の廃止・民営化を2013年に打ち出し、同時に新高連合町会の高石康博さんは「地域の宝の新高幼稚園を残したい。教育・福祉を守るのは行政の仕事です。安易に民営化してほしくない。ここが廃止さ

“案 자체 消えてほしい”



幼稚園門前で宣伝する淀川区連絡会の人たち=19日、大阪市

「いきたい」と話しました。

ずっと不安

ると、区内の他の幼稚園も全部なくされてしまった。がんばって残して、に通わせている母親

た「下の子かいね」と謂  
えました。

からの反対運動が起り、野党会派の反対によって繰り返し否決されたものの、今年10月に橋下市長は以前に否決された園も含めて廃園案を提出しましたが、「維新」以外の共産、自民、公明、民主系の全会派で3度目の否決をしました。

高石さんは「4度めをなくすために、橋下『維新』政治をなくさんとあかん。柳本候補の公約に期待しています」と話しています。

何度も否決されながらも「民営化」ありきで、市民の声に耳を傾げずに従わせようとする橋下「維新」の姿がここにあります。トツブダウンでなくしつかり議論して前に進める政治が必要です。